

平成27年度（2015年度）

事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

静岡県磐田市新貝2500番地

目 次

【事業報告】

I. 事業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

II. 事業別の状況

■スポーツチャレンジ助成事業

- 1.スポーツチャレンジ研究助成・スポーツチャレンジ体験助成 （公1）助成金事業・・・・・・・・ 4
- 2.海外留学生奨学金・外国人留学生奨学金給与 （公2）奨学金事業・・・・・・・・ 8
- 3.スポーツ討論会の開催 （公1）助成金事業・・・・・・・・ 10

■スポーツ振興支援事業

- 1.全国児童 水辺の風景画コンテスト （公4）青少年健全育成事業・・・・・・・・ 11
- 2.ジュニアヨットスクール葉山の運営 （公4）青少年健全育成事業・・・・・・・・ 13
- 3.セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖の開催 （公6）調査研究・教材製作・競技会等運営事業・・・ 15
- 4.スポーツ教材の提供 （公5）普及・振興事業・・・・・・・・ 16

■スポーツ文化・啓発事業

- 1.スポーツチャレンジ賞 表彰 （公3）表彰事業・・・・・・・・ 18
- 2.調査研究への取り組み （公6）調査研究・教材製作・競技会等運営事業・・・ 21
- 3.ホームページ運営と刊行物の発行 （公7）普及広報事業・・・・・・・・ 24

【事務報告】

- ・平成 27 年度 理事会、定時評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ・評議員・理事・監事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

【参 考】

- ・別紙（1） 平成 27・28 年度（第 9・10 期）助成対象者・・・・・・・・ 28
- ・別紙（2） 平成 27・28 年度（第 9・10 期）国際スポーツ奨学金対象者・・・・・・・・ 32
- ・別紙（3） 第 27 回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」入賞者・・・・・・・・ 33
- ・別紙（4） 平成 27 年度スポーツ教材の提供先団体・・・・・・・・ 35
- ・別紙（5） 第 24 回「セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」 参加団体と上位入賞者・・・・・・・・ 41

【事業報告】

I. 事業の概況

あらためて申し上げるまでもなく、わが国のスポーツを取り巻く環境は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催などを契機として、大きな発展期を迎えています。「スポーツ庁」を中心としたスポーツ行政の一元化による総合的な推進体制の強化や、スポーツ団体及び民間事業者等を含めた連携・協働による取り組みも活発化してきました。そうした中、昨年は、特にラグビーワールドカップにおける日本代表の活躍による感動と社会的な盛り上がり、そして障害者スポーツへの関心の高まりが大変印象に残る一年でした。このような社会の人々のスポーツへの関心の高まりを一過性のものとせず、本年のリオ2016オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ2019日本大会、東京2020、そしてその先へとつなげていくためには、スポーツを底支えする「人づくり」が鍵になると私たちは捉えており、当財団も微力ながら次代のスポーツ振興を担う人材育成の分野において引き続き貢献していきたいと考えています。

当財団の平成27年度事業は、中期事業方針（Next5）の4年目として、「新たな価値（社会的価値）づくり」「事業の質向上」の指針のもとに、社会ニーズを踏まえた諸施策の継続的改善や、事業の円滑な運営に努め、各事業分野において概ね当初予定した成果をあげることができました。

中核事業のスポーツチャレンジ助成事業では、助成対象者及び奨学生に対するサポートプログラム（四半期報告、中間報告会、成果報告会、異分野交流、討論会など）を審査委員会のご協力のもとに運営し、また新たな取り組みとして次世代を担うジュニアアスリートの支援策「スポーツチャレンジNEXT」を導入しました。

スポーツ振興支援事業は、「ジュニアヨットスクール葉山」の運営。第24回「セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」の開催。被災地を含む全国小学校等へのスポーツ教材の提供や2年目となる静岡県西部（3市1町）をモデルエリアとした「指導サポート付きタグラグビー教材の提供」を推進。子どもたちの自然・水辺体験の啓発を趣旨とした第27回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」を展開しました。

スポーツ文化・啓発事業は、長年に亘りスポーツ振興に大きく貢献された「縁の下の力持ち」を讃える第7回「スポーツチャレンジ賞」の表彰を行うとともに、第8回の受賞者選考・決定を行いました。また、受賞者の功績へのさらなる理解促進を目的にスペシャルコンテンツを当財団ホームページで公開してきました。4年目となる調査研究では、前年度調査結果に基づくシンポジウム「パラリンピック選手発掘・育成・強化システムの現状と今後の方向性について」の開催や、新たに「目指せ！未来のトップアスリート！」と題した障害者スポーツ（車椅子バスケットボール）体験イベントを横浜市で開催しました。また、本年度の調査研究活動としては、引き続き障害者スポーツに関する調査と並行して、新たにトップスポーツの現状と課題に関する調査を行い、報告書を発行しました。

当財団設立10年目となる平成28年度も、引き続き公益法人という枠組みの中での民間らしさ、「YMFSらしさ」を大切にしながら、各事業において「新たな価値（社会的価値）づくり」とさらなる「事業の質向上」にチャレンジしてまいります。

Ⅱ. 事業別の状況

■ スポーツチャレンジ助成事業

本事業では世界に羽ばたく逞しい人材の育成をめざし、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する広い分野から、スポーツの普及・振興や競技水準の向上につながる学術的価値の高い学問・研究活動に対し、また、スポーツを通して夢・目標の実現に向かってチャレンジするアスリート、指導者、審判、ジャーナリストなどスポーツに関する分野から、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持った、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットあふれる体験活動を助成しています。

1. スポーツチャレンジ研究助成・スポーツチャレンジ体験助成 (公1) 助成金事業

平成27年度(第9期)は全27件、合計金額24,548,500円の助成を行いました。

平成28年度(第10期)に向け、全31件、合計金額26,676,027円を採択しました。

また、スポーツチャレンジ助成対象者(チャレンジャー)、OB・OG、事業関係者の日々の活動報告や交流用サイト「チャレンジャーズ・ネットワーキング・システム」を運営しています。

【平成27年度の活動実績】

●平成27年度(第9期)助成事業の概要:

助成実績

	今年度/第9期	前年度/第8期
研究助成	14件	14件
体験助成	13件	14件
合計	27件	28件

○スポーツチャレンジ助成者に対し、活動サポートやフォローアップを目的に以下のプログラムを実施しました。

- ・活動報告書の提出(四半期毎)
- ・中間報告会の開催(9月～10月)
- ・成果報告会の開催(3月)

○中間報告会について：

・9月から10月にかけて中間報告会を開催しました。（全5回。前年度4回）

なお、スポーツチャレンジ助成者と国際スポーツ奨学生（後述）合同で実施しました。

各チャレンジャーから活動報告を受けるとともに、担当審査委員からは激励・質疑やアドバイスがありました。

	日程	会場	チャレンジャー	審査委員
第1回	9月25日（金）	大手町ファーストスクエア カンファレンス	7名	7名
第2回	9月26日（土）		6名	5名
第3回	10月9日（金）		6名	6名
第4回	10月16日（金）	東京国際フォーラム	7名	3名
第5回	10月17日（土）		7名	3名

※チャレンジャーは「研究助成」「体験助成」「チャレンジ NEXT」「海外留学生」「外国人留学生」の合算です。

○成果報告会および修了式について：

・第9回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」（※）にて開催しました。

平成28年3月18日（金）～20日（日）静岡県掛川市 ヤマハリゾートつま恋

※（ご参考）YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングの概要については後述



【平成28年度に向けた活動実績】

●平成28年度（第10期）助成対象者募集および選考の概要

- ・募集期間：平成27年9月1日（火）～11月17日（火）
- ・募集方法：当財団ホームページおよびニュースリリースなどにて告知
- ・募集内容：

- ・スポーツチャレンジ研究助成（基本助成・継続助成①、②）
- ・スポーツチャレンジ体験助成（基本助成・継続助成①、②）
- ・スポーツチャレンジ NEXT

※（ご参考）基本助成と継続助成について

スポーツチャレンジ助成制度を「基本助成」と2段階の「継続助成」（継続助成①、継続助成②）で構成し、より高い目標にチャレンジする助成対象者を継続してサポート可能とした仕組み。

※「スポーツチャレンジ NEXT」助成制度について（平成27年度より）

平成27年度より“次代を担うアスリート支援”を目的に新設。

・選考方法：第1回選考委員会（書類審査）：

審査項目	日程	会場	審査委員
体験助成およびチャレンジ NEXT	12月10日（木）	東京国際フォーラム	5名
研究助成	12月11日（金）		6名

・第2回選考委員会（面接審査）：

審査項目	日程	会場	審査委員
体験助成（新規）	1月20日（水）	東京国際フォーラム	3名
研究助成（新規）	1月21日（木）		9名
体験助成および研究助成（継続）	1月22日（金）	丸の内マイプラザ	5名

○応募状況および選考結果について：

<基本助成>

	応募数（第10期）	採択数（第10期）	応募数（第9期）	採択数（第9期）
研究助成	50 件	11 件	53 件	10 件
体験助成	27 件	8 件	39 件	9 件

<継続助成>

	応募数（第10期）	採択数（第10期）	応募数（第9期）	採択数（第9期）
研究助成	6 件	4 件	1 件	1 件
体験助成	7 件	4 件	8 件	5 件

<スポーツチャレンジ NEXT>

	応募数（第10期）	採択数（第10期）	応募数（第9期）	採択数（第9期）
チャレンジ NEXT	6 件	4 件	5 件	3 件

<助成金採択実績一覧> ※（ ）内は助成に含まれる継続助成の件数

助成プログラム	申請件数	採択件数	助成金額（合計）
研究助成	56 件（6 件）	15 件（4 件）	12,926,500 円
体験助成	34 件（7 件）	12 件（4 件）	11,751,027 円
チャレンジ NEXT	6 件	4 件	1,998,500 円
合計	96 件（13 件）	31 件（8 件）	26,676,027 円

○助成金贈呈式について：

第9回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」にて実施しました。

平成28年3月18日（金）～20日（日）静岡県掛川市 ヤマハリゾートつま恋

※（ご参考） 別紙（1） 平成27・28年度（第9・10期）助成対象者

2. 海外留学生奨学金・外国人留学生奨学金 給与事業 (公2) 奨学金事業

スポーツにかかわる学問・研究を目的とした留学生に奨学金を給与する「海外留学生奨学金」および「外国人留学生奨学金」を実施しています。

「海外留学生奨学金」はスポーツの振興・普及および技能向上にかかわる学問・研究を目的に、海外に留学する日本人大学生・大学院生に奨学金を給与する制度です。

「外国人留学生奨学金」は将来母国でのスポーツ関連指導者を目指すため、スポーツの振興・普及および技能向上にかかわる学問・研究を目的に、日本に留学している外国人大学生・大学院生に奨学金を給与する制度です。

平成 27 年度は全 6 件（継続 2 件）、合計金額 7,200 千円の奨学金を給与しました。

平成 28 年度は全 4 件（継続 2 件）、合計金額 4,800 千円の奨学金を給与します。

【平成 27 年度の活動実績】

●国際スポーツ奨学金事業の概要：

	今年度/第 9 期	前年度/第 8 期
海外留学生	3 件	1 件
外国人留学生	1 件	3 件

○奨学金対象者に対し、活動サポートやフォローアップを目的に以下のプログラムを実施しました。

- ・活動報告書の提出（四半期毎）
- ・中間報告会の開催（9 月～10 月）
- ・成果報告会の開催（3 月）

○中間報告会について：

- ・スポーツチャレンジ助成対象者向け中間報告会に合わせ実施しました。（前述）

○成果報告会および修了式について：

第 9 回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」にて実施しました。

平成 28 年 3 月 18 日（金）～20 日（日）静岡県掛川市 ヤマハリゾートつま恋

【平成28年度に向けた活動実績】

●平成28年度（第10期）国際スポーツ奨学金対象者募集および選考の概要：

- ・募集期間：平成27年9月1日（火）～11月17日（火）
- ・募集方法：当財団ホームページおよびニュースリリースなどにて告知
- ・募集内容：海外留学生・外国人留学生
- ・選考方法：書類審査および面接審査

		日程	会場	審査委員
海外留学生および外国人留学生	書類審査	12月11日（金）	東京国際フォーラム	6名
	面接審査	1月21日（木）		9名
		1月22日（金）	丸の内マイプラザ	5名

○応募状況および選考結果について：

<第10期>

	応募数（第10期）	採択数（第10期）	応募数（第9期）	採択数（第9期）
海外留学生	4件	1件	6件	3件
外国人留学生	6件	1件	3件	1件

<奨学金採択実績一覧>

※助成金額には平成27年度採択の対象者2名（2年目）に対する奨学金が含まれています。

助成プログラム	申請件数	採択件数	助成金額（合計）
国際スポーツ奨学金（1年分）	10件	4件（2件）	4,800,000円

○奨学金贈呈式について：

第9回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」にて実施しました。

平成28年3月18日（金）～20日（日）静岡県掛川市 ヤマハリゾートつま恋

※（ご参考）別紙（2） 平成27・28年度（第9・10期）国際スポーツ奨学金対象者

3. スポーツ討論会の開催 (公1) 助成金事業

スポーツにかかわる人たちのレベルや意識の向上および社会へのスポーツの有用性訴求などを目的に、参加者一人ひとりがスポーツについて「語り」「学び」「考える」機会として、スポーツ討論会を年1回開催しています。

平成27年度も前年度同様に、「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」参加者を対象に開催しました。

●第9回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」の概要

・期間：平成28年3月18日（金）～20日（日）（3日間）

・場所：静岡県掛川市 ヤマハリゾートつま恋

・内容：

・平成27年度（第9期）成果報告会および修了式

・平成28年度（第10期）助成金・奨学金贈呈式

・基調講演「生きる時間」

柳 敏晴 氏 公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 理事

学校法人玉田学園 神戸常盤大学 教育イノベーション機構長 教授

・特別講演「パフォーマンスが生み出す価値」

杉本 龍勇 氏 公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

スポーツチャレンジ助成 審査委員、法政大学 経済学部 教授

・スポーツ討論会「アスリートが研究者に期待すること、研究者がアスリートに期待すること」

瀬戸 邦弘 氏 上智大学 文学部 保険体育研究室 講師

スポーツチャレンジ助成 第6・7・8期生

○イベントの様様をホームページの以下のアドレスに掲載しました。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/assist/scmeeting/09/>



■スポーツ振興支援事業

本事業では、心身ともに健全な子どもたちの育成をめざし、スポーツをより身近に楽しむことや自然・水辺体験の促進に取り組んでいます。

1. 全国児童 水辺の風景画コンテスト（公4） 青少年健全育成事業

本事業は、子どもたちの自然体験や水辺体験の促進が社会的な課題となっている中で、小学生以下の児童・幼児を対象に、海や川などの水辺に出かけて得た、さまざまな体験をテーマに絵を描くことによって、水辺への興味・関心を高め、表現力や感性を育むことを目的とする絵画コンテストを開催しています。

今年度は第27回として開催し、全国から総数8,763点の応募があり、2回の審査会を経て入選作品501点(入賞作品37点を含む)を決定しました。

●第27回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」の概要

・募集期間：平成27年7月1日（水）～9月30日（水）

・対象：小学生および幼児

・募集方法：当財団ホームページおよび募集リーフレットなどにて告知

・審査日程：

予選会：10月20日（火）

本選会：10月27日（火）

・表彰：入賞37点 最優秀賞：文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞

特別賞：審査員長賞、日本マリン事業協会会長賞、日本ユネスコ協会連盟賞、

日本マリーナ・ビーチ協会会長賞、ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞、

ヤマハ発動機賞

優秀賞：金・銀・銅賞（幼児の部、小学校低学年の部、小学校高学年の部）

入選501点（入賞作品37点を含む） ※予選会通過作品

・入選および入賞作品発表：11月4日（水）

○各大臣賞表彰式：受賞者在籍校などにて開催

	日程	開催会場
農林水産大臣賞	12月2日（水）	静岡県賀茂郡東伊豆町立稲取小学校
文部科学大臣賞	12月8日（火）	愛媛県西予市立野村小学校
環境大臣賞	12月9日（水）	宮城県遠田郡美里町立ふどう幼稚園
国土交通大臣賞	12月11日（金）	長崎県佐世保市三浦保育園

○入賞作品紹介：

ホームページの以下のアドレスに掲載しました。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/support/contest/2015/>

「ジャパンインターナショナルポートショー2016」（3月3日～6日。横浜市・パシフィコ横浜）にて展示

※公式入場者数：49,515人（前年度 43,100人）

○応募状況について：

- ・作品数：8,763点（前年度9,149点）
- ・団体数：689団体（前年度732団体）※全国の保育園、幼稚園、小学校、絵画教室など

○審査会について：

- ・予選会 ※専門家による審査で入選作品決定
- ・本選会 ※専門家、後援省庁および団体による審査で入賞作品決定

	日程	会場	審査員
予選会	10月20日（火）	ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ	4名
本選会	10月27日（火）	日展会館	14名

○審査結果について：

- ・入選作品 501点（うち、入賞作品 37点）

※ 参考 別紙（3） 第27回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」入賞者



2. ジュニアヨットスクール葉山の運営（公4） 青少年健全育成事業

本事業は、心身ともに健全で逞しい子どもたちの育成を目的に、小・中学生から高校生を対象として、通年型のスクール（4月～翌3月）を、神奈川県葉山町で運営しています。平成27年度は36名の受講者を対象に活動しました。受講生の保護者から、本事業を通して子どもたちの逞しさや自発性、協調性など意識・行動の変化や成長を実感できたとの評価をアンケート調査により得ました。

- セーリングに関する適切な知識、経験、技能を備えた指導者（コーチ）により適切な指導を行いました。
- 「自然・水辺体験学習」の機会を取り入れた総合的なプログラムを通じて、海、水辺、海事に関する安全啓発や知識向上などを行いました。
- スクール運営の更なる充実に向け、保護者の理解促進や協力獲得、さらに指導者との一体感を醸成するため、保護者会を開催し、活動報告や意見交換を行ないました。全2回。（10月、3月）
- スクール生は技能成果確認と次年度目標設定を目的に、「セーリング・チャレンジカップ I N 浜名湖」へ参加しました。（3月）

※活動の様子はホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/support/junioryachtschool/>



【平成27年度 ジュニアヨットスクール葉山 年間活動実績】

○世代別、また個々のセーリング技術のレベルに合わせた独自のクラス分け（ベーシック・マスター・エキスパート・クラブ /レーシング）と、それに準じたカリキュラムにより、原則、月2回から3回の通常練習を行なっています。

＜通常練習以外の主な活動＞

実施内容	日程	場所
平成27年度始業式	4月12日	葉山マリーナ
江の島ノルウェーフレンドシップヨットレース	4月18日～19日	江の島ヨットハーバー
葉山関東水域OPヨットレース	4月29日	葉山新港
JOCジュニアオリンピック2015	5月3日～6日	佐賀県ヨットハーバー
藤沢チャンピオンヨットレース	5月30日	江の島ヨットハーバー
JSAF江の島オリンピックウィーク2015	6月6日～7日	江の島沖
江の島ジュンレガッタ	6月14日	江の島沖
体力測定	6月14日	逗子アリーナ
水辺の安全講習会	7月19日	葉山町漁業協同組合会館/葉山マリーナ
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2015	7月31日～8月2日	岩手県リアスハーバー宮古
夏季合宿	7月31日～8月4日	静岡県立三ヶ日青年の家
水辺体験学習	8月4日	気田川
伊豆大島外洋帆走訓練	8月16日～18日	葉山マリーナ/伊豆大島岡田港
東日本OP級セーリング選手権大会	8月21日～23日	葉山沖
ミキハウスカップ東京2015	9月6日	東京若洲海浜公園ヨット訓練所
第70回国民体育大会 2015紀の国わかやま国体	9月10日～13日	和歌山ナショナルトレーニングセンター
秋風ヨットレース	9月13日	江の島沖
保護者会	9月27日	葉山マリーナ/葉山町漁業協同組合会館
第29回小沢吉太郎記念少年少女ヨットレース大会	10月11日～12日	江の島沖
体力測定	11月1日	逗子アリーナ
レーザー4.7級全日本選手権	11月1日～3日	三重県津ヨットハーバー
第47回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会	11月20日～23日	江の島ヨットハーバー
クラブ内X'masレース	12月23日	江の島ヨットハーバー
2016年JODAナショナルチーム選考会	1月8日～11日	静岡県立三ヶ日青年の家
江の島ミッドウィンターレガッタ	1月16日～17日	江の島ヨットハーバー
豪州遠征 2016 Argonaut Mini Series	2月3日～10日	ロイヤルパースヨットクラブ
レーザーミッドウィンター	2月13日～14日	佐賀県ヨットハーバー
冬風ヨットレース	2月21日	江の島ヨットハーバー
体力測定	2月27日	逗子アリーナ
アーリースプリングレガッタ	3月8日	江の島ヨットハーバー
平成27年度修了式	3月13日	葉山マリーナ/葉山町漁業協同組合会館
第24回YMFSセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖	3月24日～27日	静岡県立三ヶ日青年の家



3. セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖の開催（公6）調査研究・教材製作・競技会等運営事業

本事業は、心身ともに健全な子どもたちの育成を目的に、全国のジュニア・ユースセーラーが一堂に会し、日頃の練習成果や次年度の目標確認の場として、また技術指導や選手・指導者同士の交流を通じて、全体的レベルアップと技術向上に資するため、開催しています。

●第24回「YMFS セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」の概要

- ・開催日時：平成28年3月24日（木）～27日（日）（4日間）
- ・開催場所：静岡県立三ヶ日青年の家
- ・共同主催：公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団、NPO 法人静岡県セーリング連盟
- ・公認団体：公益財団法人日本セーリング連盟（承認番号 H27-50）
- ・運営協力：NPO 法人静岡県セーリング連盟
- ・協賛：三井住友海上火災保険株式会社、ヤマハ株式会社、株式会社ワイズギア、株式会社舵社、株式会社ヤマハトラベルサービス、株式会社ノースセール・ジャパン、パフォーマンスセイルクラフトジャパン株式会社
- ・後援：スポーツ庁、公益財団法人日本体育協会、静岡県、静岡県教育委員会、公益財団法人静岡県体育協会、浜松市、浜松市教育委員会、公益財団法人浜松市体育協会、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、NHK 浜松支局、静岡第一テレビ、テレビ静岡、k-mix、浜松 FM 放送、日本オプティミストディンギー協会、日本レーザークラス協会、日本 FJ 協会、日本 420 協会、ミニホッパー協会、一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
- ・協力：静岡県立三ヶ日青年の家、静岡県立三ヶ日青年の家ヨットリーダーズクラブ、南平自治会
- ・競技種目：OP 級、ミニホッパー級、レーザー4.7 級、レーザーラジアル級、FJ 級、420 級
- ・参加資格：ジュニアおよびユース選手

○大会には、全国から34クラブ、109隻、119名が参加しました。

○独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成金」の助成を受けて開催しました。

（助成決定額 3,479千円）



○大会期間中、特別講師による技術指導・勉強会を開催しました。

＜特別講師の紹介＞

- ・佐々木 共之 氏（オリンピック。日本レーザークラス協会 強化委員会委員長）
- ・榮樂 洋光 氏（日本レーザークラス協会 強化委員 スポーツチャレンジ体験助成 第1期生）
- ・白石 潤一郎 氏（JOC コーチングスタッフ、ノースセール・ジャパン）

※ 参考 別紙（5） 第24回「YMFS セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」参加団体と上位入賞者

4. スポーツ教材の提供（公5）普及・振興事業

本事業は、教材の活用を通じて子どもたちが外で楽しく体を動かすきっかけとなり、スポーツ好きな子どもの増加、体力・運動能力の向上、心身の健全な育成の一助となることを目的に、全国の幼稚園、小学校、中学校、ジュニアスポーツクラブ、総合型地域スポーツクラブなどを対象に実施しています。

平成27年度は合計194団体にスポーツ教材を提供しました。（被災地支援65団体含む）
また、「指導サポート付きタグラグビー教材の提供」は、募集に対し申請のあった小学校9校に実施しました。
（上記194団体に含む）これらを通じて全国で約1万5千人の子どもたちや教師・指導者が活動に参加しました。

●平成27年度「スポーツ教材の提供」の概要：

- ・募集期間：平成27年4月14日（火）～6月8日（月）
- ・使用対象：幼児から中学生
- ・提供対象：「スポーツ機会の充実に向けた新たな取り組み」を計画している120団体
※団体とは、保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、児童養護施設、教育委員会、体育協会、
スポーツ少年団・クラブ・スクールなどスポーツに実際に取り組む活動単位を指します。
- ・提供教材：①サッカーボール 60団体 ②タグラグビーセット 60団体
- ・募集方法：当財団ホームページおよび教育委員会など通じた案内にて告知
- ・選考方法：書類審査の上、第三者による厳正な抽選により決定
- ・結果通知：当財団ホームページに抽選結果掲載後、提供先団体へメールにて通知
- ・提供方法：7月中旬に提供団体へ発送

○申請状況および抽選結果について：

- ・申請総数：935団体（前年度928団体）
- ・抽選会：6月11日（木）東京丸の内マイプラザ
※書類審査の上、公益財団法人日本体育協会 副会長 岡崎助一様（平成28年3月29日現在）による抽選。
- ・抽選結果：120団体（前年度120団体）

○東日本大震災被災地支援について：

被災の影響で、スポーツ機会の減少による体力低下や肥満児童の増加などの課題を抱えているとの教育現場からの声を踏まえ、通常提供枠とは別に実施しています。本年度は被災地の小学校など合計65団体に提供しました。
（前年度53団体）

○「指導サポート付きタグラグビー教材の提供」について：

ヤマハ発動機株式会社の協力を得て、直接指導可能な当財団近隣地域（静岡県西部：磐田市・袋井市・掛川市・周智郡森町）をモデルエリアとして、該当地区の小学校を対象に募集を行い（上限１０校）、申請のあった９校に実施しました。

	日程	教員対象	児童対象
磐田市立磐田北小学校	5月29日	5名	144名
	11月30日	11名	-
磐田市立豊田北部小学校	6月24日	5名	142名
	8月3日	12名	-
掛川市立西山口小学校	6月25日	1名	18名
掛川市立原谷小学校	10月16日	3名	85名
掛川市立大淵小学校	10月30日	2名	55名
掛川市立和田岡小学校	11月9日	4名	82名
磐田市立磐田中部小学校	11月16日	3名	96名
磐田市立豊田南小学校	2月3日	3名	83名
磐田市立竜洋西小学校	2月17日	4名	84名
合計		53名	789名

○提供教材の効果的な活用事例をホームページの以下のアドレスで掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/support/supply/>

※ 参考 別紙（４） 平成２７年度 スポーツ教材の提供先団体



■ スポーツ文化・啓発事業

本事業ではスポーツを通じた心豊かな社会づくりに貢献するために、スポーツチャレンジ賞表彰や調査研究活動をはじめ、各事業の活動実績や知見、情報をより広く社会に発信する活動を行なっています。

1. スポーツチャレンジ賞表彰（公3） 表彰事業

本事業は、スポーツ振興において多大なる実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した人物・団体を表彰します。スポーツに関する幅広い分野（技術、指導、研究、普及、ジャーナリズムなど）において、輝かしい功績をあげ、かつ、これまで注目を浴びることの少なかった「縁の下の力持ち」的な人物・団体を対象としており、これが本賞の特徴となっています。本賞は「功労賞」と「奨励賞」の2部門で構成されています。

第7回「スポーツチャレンジ賞」（平成26年度）の表彰式を4月20日に都内にて開催しました。

第8回「スポーツチャレンジ賞」（平成27年度）の受賞者を決定しました。

また、受賞者の足跡や功績に対する社会一般への理解促進を図るために、当財団ホームページにてスペシャルコンテンツ「BACK STORIES」を公開しています。

● 賞の概要（功労賞、奨励賞）：

（功労賞）

- ・対象者：既に優れた成果をあげ、功をなした人物・団体
- ・内容：長年もしくは過去に行われ、現在のスポーツ振興の礎となるような貢献や、先駆的な実績を誇るチャレンジで、注目を浴びることの少なかった、本来高い評価を得るに相応しい、「縁の下の力持ち」的な存在を表彰します。

（奨励賞）

- ・対象者：その年、高い成果をあげ、今後さらなる成長が期待される人物・団体
- ・内容：短期的もしくは中期的に行われ、その年、極めて高い成果をあげ、今後のスポーツ振興に大きな影響力の発揮が期待されるチャレンジで、注目を浴びることの少なかった、本来高い評価を得るに相応しい、「縁の下の力持ち」的な存在を表彰します。

【前年度（平成26年度）からの継続活動実績】

●平成26年度 第7回「スポーツチャレンジ賞」の概要：

- ・候補者推薦募集：平成26年9月20日（土）～11月18日（火）
- ・選考委員会開催：第1回 平成26年12月10日（水）、11日（木）
第2回 平成27年 1月20日（火）、21日（水）
- ・表彰式開催：平成27年4月20日（月）如水会館（東京都）

○各賞受賞者のご紹介

（奨励賞） 妻木 充法 氏 （アスレティックトレーナー）

「公正なジャッジを支える『鍼治療』の技術」

（奨励賞） 門田 正久 氏 （アスレティックトレーナー）

「障害者アスリートのメディカルサポート環境を拡充する取り組み」

○表彰式実績

- ・開催日：平成27年4月20日（月）
- ・開催場所：如水会館（東京都）
- ・参加者：受賞者、推薦者、応援者、報道機関、審査委員、理事等関係者 合計94名

※当日の様子はホームページの以下のアドレスにて掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/07/commendation/>



【平成27年度の活動実績】

●平成27年度 第8回「スポーツチャレンジ賞」の概要：

- ・候補者推薦募集：平成27年10月1日（木）～11月17日（火）
- ・募集方法：当財団ホームページにて告知
- ・選考委員会日程：第1回 12月10日（木）、11日（金）
第2回 1月20日（水）、20日（木）
- ・表彰式：平成28年4月22日（金） 如水会館（東京都）

○受賞者選考について：

競技団体、大学、報道機関などから9件の候補者推薦を受け、当財団に設置した有識者・専門家による選考委員会（2回）を経て受賞者を決定しました。

	日程	会場	審査委員
第1回選考委員会	12月10日（木）	東京国際フォーラム	5名
	12月11日（金）		6名
第2回選考委員会	1月20日（水）		4名
	1月21日（木）	丸の内マイプラザ	9名
	1月22日（金）		5名

○各賞受賞者紹介

（功労賞） 藤原 進一郎 氏

（日本障がい者体育・スポーツ研究会 元・理事長、日本障がい者スポーツ協会 元・理事、技術委員会 元・委員長、日本パラリンピック委員会 元・運営委員、極東・南太平洋身体障害者スポーツ連盟（当時）スポーツ委員会 元・委員長）

「すべての障がい者の生活にスポーツをー」その信念を貫いた40年

（奨励賞） 中島 正太 氏

（ラグビーワールドカップ2015 15人制 日本代表チーム / 男子7人制日本代表チーム、アナリスト）

「先端技術を駆使したデータ分析で、ラグビー日本代表の躍進に貢献」

○スペシャルウェブコンテンツ「BACK STORIES（バック・ストーリーズ）」について：

※ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/backstories/>

2.調査研究への取り組み

(公6) 調査研究・教材製作・競技会等運営事業

スポーツ振興やスポーツ文化向上にかかわる社会的な課題の解決に寄与するため、当財団の特徴を活かし得る分野において「調査研究委員会」を設置し、その活動成果を広く社会に発信しています。

平成27年度は、4年目となる障害者スポーツに関する分野から、「障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築に向けた基礎的調査研究」を実施。また、これに並行して新たなテーマとして「トップスポーツの現状と課題に関する調査研究—ラグビーフットボールに関する社会的認知と観戦行動の基礎調査—」を実施。これら調査研究結果は報告書にまとめ発行しました。

また、平成26年度の調査研究結果の社会活用の促進を目的としたシンポジウムを開催した他、これまでの障害者スポーツに関する調査研究結果の実践活動として、初の試みとなる障害者スポーツ（車椅子バスケットボール）体験イベント「目指せ！未来のトップアスリート！」を開催しました。

【障害者スポーツの現状に関する調査研究活動について】

- シンポジウム「パラリンピック選手発掘・育成・強化システムの現状と今後の方向性」の開催（7月）
- 2015ジャパンパラ（水泳・陸上）競技大会出場選手に関するスポーツキャリア調査の実施（9月）
- 障害者スポーツ体験イベント「目指せ！未来のトップアスリート！」の開催（1月）
- 報告書の発行
「障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築に向けた基礎的調査研究報告書」（3月）

【トップスポーツの現状と課題に関する調査研究活動について】

国内のトップスポーツが学校運動部と企業スポーツを基盤としていた時代から、サッカーJリーグのような地域に根差したスポーツクラブへと変化していく流れを踏まえ、今後の日本におけるトップスポーツを取り巻く課題を明らかにし、国内のトップスポーツの未来像を導き出すことを目的に本テーマに取り組みました。

特に平成27年度はラグビーワールドカップにおける日本代表の活躍により日本中でラグビーに対する関心が高まる中、今後、ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催を控えることもあり、ラグビーフットボールを本年度の調査対象競技として選択しました。

- ラグビーフットボールに関する社会的認知と観戦行動に関する調査
- 全国を対象としたインターネットによるアンケート調査（12月）
- ジャパンラグビートップリーグ第6節試合観戦者に対するアンケート調査（12月）
- 報告書の発行
「トップスポーツの現状と課題に関する調査研究報告書
—ラグビーフットボールに関する社会的認知と観戦行動の基礎調査—」（3月）

○調査研究委員会の開催（全４回）

	日程	会場	委員出席
第1回	5月11日（月）	TKP東京駅前カンファレンスセンター	6名
第2回	8月18日（火）	丸の内マイプラザ	6名
第3回	12月24日（木）	丸の内マイプラザ	8名
第4回	3月10日（木）	東京国際フォーラム	8名

●シンポジウムの開催概要

- ・テーマ「パラリンピック選手発掘・育成・強化システムの現状と今後の方向性について」
- ・日程：平成27年7月4日（土）
- ・場所：大手町ファーストスクウェア カンファレンス（東京都）
- ・主催：公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団
- ・後援：文部科学省、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、
公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人笹川スポーツ財団、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
- ・内容および登壇者：

開会挨拶 浅見 俊雄 氏（公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 理事）

調査報告：「パラリンピック選手発掘・育成・強化システムの現状と今後の方向性について」

海老原 修 氏（横浜国立大学教育人間科学部・教授/公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団・調査研究委員会・委員長）

パネルディスカッション

コーディネーター：藤田 紀昭 氏（同志社大学スポーツ健康科学部 教授/公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団・調査研究委員会・委員）

パネリスト：浦田 理恵 氏（ゴールボール選手 全日本女子主将/2012 ロンドンパラリンピック金メダリスト）

桜井 誠一 氏（一般社団法人日本障がい者水泳連盟 常務理事）

増子 恵美 氏（車椅子バスケットボール日本代表候補/公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会・書記）



●障害者スポーツ（車椅子バスケットボール）体験イベントの概要

- ・名称：「目指せ！未来のトップアスリート！」
- ・日程：平成28年1月30日（土）
- ・場所：横浜市障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール（神奈川県）
- ・主催：公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団
- ・後援：横浜市教育委員会、横浜市小学校長会、横浜市中学校長会、横浜市小学校体育研究会、横浜市中学校体育連盟、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、公益財団法人笹川スポーツ財団（順不同）
- ・内容：
 - ・横浜市内の小中学校に在籍する児童・生徒を対象とした車椅子バスケットボール教室
 - ・ゲストによる講演会：根木 慎志 氏（2000年シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール男子日本代表キャプテン、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会副会長、日本パラリンピック委員会 運営委員会 委員）

○調査研究報告書の作成と配布：

障害者スポーツやトップスポーツの普及振興にかかわる関係者・団体等に配布しました。
（障害者スポーツ 460 部。トップスポーツ 200 部。平成 28 年 3 月発行）

○調査研究結果をホームページの以下のアドレスに掲載しています。

障害者スポーツ [URL:http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/006/](http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/006/)
トップスポーツ [URL:http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/007/](http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/007/)

【平成 27 年度 調査研究委員会 委員】 ※平成 28 年 3 月 1 日現在(五十音順・敬称略)

役職	氏名	現職
担当理事	浅見 俊雄	東京大学・日本体育大学 名誉教授
委員長	海老原 修	横浜国立大学 教育人間科学部 教授
委員	岡本 純也	一橋大学大学院 商学研究課 准教授
委員	河西 正博	びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 助教
委員	齊藤 まゆみ	筑波大学 体育系 准教授
委員	澁谷 茂樹	(公財) 笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 主任研究員
委員	高橋 義雄	筑波大学 体育系 准教授
委員	中森 邦男	(公財) 日本障がい者スポーツ協会 強化部 部長 日本パラリンピック委員会 事務局長
委員	藤田 紀昭	同志社大学 スポーツ健康科学部 教授

3. ホームページ運営と刊行物の発行（公7） 普及広報事業

当財団ホームページでは、スポーツ振興やスポーツ文化向上による社会活性化への貢献を目的に、広く社会に対して事業活動情報を発信しています。また刊行物やリリース発行など普及広報活動の充実に努めています。

※YMFS ホームページ URL: <http://www.ymfs.jp/>

○主な掲載内容：

- ・各事業活動の告知（案内、募集、結果報告など）
- ・「スポーツチャレンジ助成」対象者の実像紹介（クローズアップレポートなど）
- ・「スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」の報告（スポーツ討論会や講演会など）
- ・「スポーツチャレンジ賞」受賞者の人物像紹介(BACK STORIES)
- ・「ジュニアヨットスクール葉山」の活動紹介
- ・「セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」の活動報告
- ・「スポーツ教材の提供」の効果的活用事例紹介
- ・「全国児童 水辺の風景画コンテスト」の活動報告
- ・調査研究活動に関する報告

○当財団ホームページのアクセス数：

- ・平成27年度：313,704PV（平成26年度：276,047PV）※前年比113.6%
- ※PV = PAGE VIEW

○ニュースリリース発行数：16本（平成26年度16本）

○国内プレスリリースポータルサイト“News2u”を通じて情報発信

○メディア掲載例(一部)：

- ・朝日新聞「アスリートや学生を助成」9月2日発行号
- ・KAZI「2種目で女子チャンピオン誕生！春の浜名湖に女子旋風」6月1日発行号
- ・スポーツ産業新報「第9回スポーツ教材の提供先120団体決定」7月1日発行号
- ・毎日新聞「水辺の風景画コンテスト 鳳花ちゃんが最高賞『佐世保の見送り』楽しく」12月13日発行号
- ・中部経済新聞「スポーツチャレンジ賞 2氏表彰」5月25日発行号
- ・北海道新聞「障害者スポーツ企業が熱視線 五輪・パラリンピック契機」4月18日発行号

○会報誌「Do the Challenge」の発行：

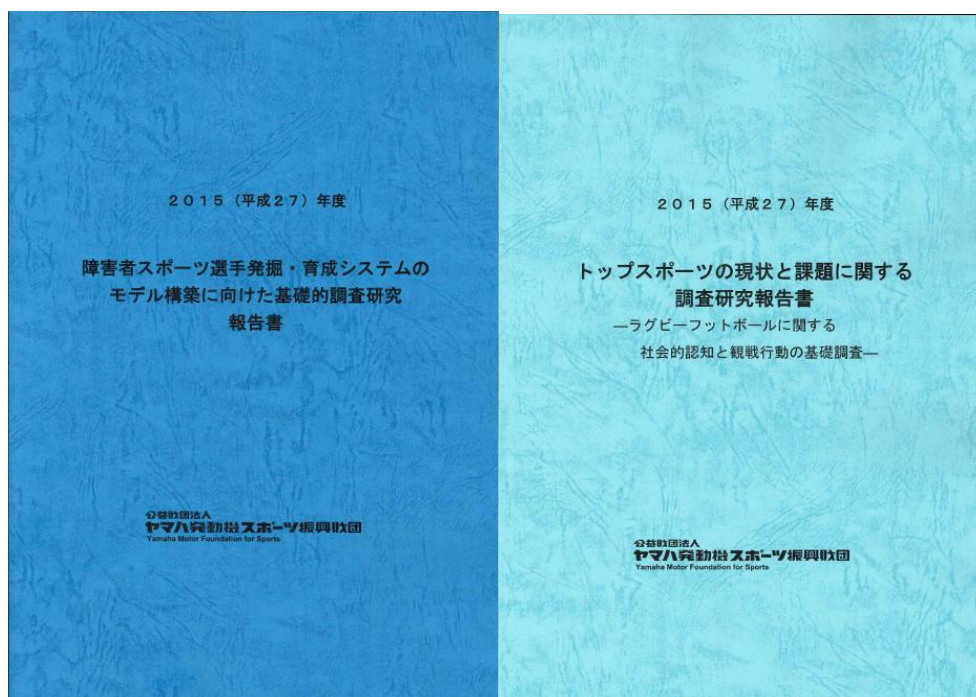
- ・概要：スポーツチャレンジ助成事業におけるチャレンジャー（助成対象者）、OB・OG、審査委員、事務局を結ぶ会報誌。相互に情報共有をするとともに、事業関係者に対する財団活動への理解促進を図るのが目的。
- ・体裁：刊行物 A4・4頁
- ・回数：計3回
- ・時期：6月・10月・2月
- ・部数：250部/回

○刊行物の発行：

当財団事業の社会的意義への理解促進や個別事業の円滑な運営を目的に発行。

スポーツ関係団体や報道関係者などとのコミュニケーション推進に活用しています。

- ・「平成26年度年間事業報告書」500部
- ・「平成27年度調査研究報告書」460部



【事務報告】

■平成27年度 理事会、定時評議員会の決議事項及び報告事項

1. 理事会

○第1回理事会 平成27年5月21日（木） 東京丸の内マイプラザ

【決議事項】

- ・平成26年度事業報告承認の件
- ・平成26年度計算書類等承認の件
- ・平成27年度定時評議員会招集の件
- ・調査研究委員会規程制定、および理事会規則、審査委員会規程一部改正の件
- ・評議員選定委員選任の件
- ・審査委員選任の件

【報告事項】

- ・第8回スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングについて
- ・第23回セーリング・チャレンジカップについて
- ・第7回スポーツチャレンジ賞について、その他

○第2回理事会 平成27年10月23日（金） 東京丸の内マイプラザ

【決議事項】

- ・個人情報保護規程一部改正の件
- ・審査委員選任の件

【報告事項】

- ・平成27年度上半期事業報告、下半期事業活動

○第3回理事会 平成28年2月26日（金） 東京丸の内マイプラザ

【決議事項】

- ・平成28年度事業計画承認の件
- ・平成28年度収支予算承認の件

【報告事項】

- ・平成27年度事業概況報告
- ・平成27年度収支見通報告
- ・次期中期事業方針について
- ・その他、業務執行状況の報告

2. 定時評議員会 平成27年6月12日（金） 東京丸の内マイプラザ

【決議事項】

- ・平成26年度計算書類等承認の件
- ・理事選任の件

【報告事項】

- ・平成26年度事業報告
- ・平成27年度事業計画報告、その他

■評議員・理事・監事 ※平成28年3月31日現在(五十音順・敬称略)

【評議員】 総数9名

役職	常・非常勤	氏名	現職
評議員	非常勤	遠藤 功	ヤマハ発動機（株） 監査役
		岡崎 助一	公益財団法人日本体育協会 副会長 (元・文部省競技スポーツ課長)
		塩谷 立	衆議院議員
		武井 一浩	弁護士
		戸田 邦司	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会 会長 (元・運輸省海上技術安全局長)
		西山 正樹	ヤマハ発動機（株） 顧問 (元・警察庁中部管区警察局長)
		晝馬 明	浜松ホトニクス（株） 代表取締役社長
		柳 弘之	ヤマハ発動機（株） 代表取締役社長
		柳澤 伯夫	城西国際大学学長 (元・衆議院議員)

【理事】 総数9名

役職	常・非常勤	氏名	現職
理事長	非常勤	木村 隆昭	ヤマハ発動機（株） 代表取締役副社長
常務理事	常勤	杉本 典彦	公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 事務局長兼任
理事	非常勤	浅見 俊雄	東京大学名誉教授、日本体育大学名誉教授
		伊坂 忠夫	立命館大学スポーツ健康科学部教授（副学部長）
		齋藤 順三	ヤマハ発動機（株） 執行役員 人事総務本部長
		定本 朋子	日本女子体育大学大学院研究科長・基礎体力研究所所長 教授
		佐藤 潤	(株)電通 スポーツ局 局次長
		橋本 義明	ヤマハ発動機（株） 顧問
		柳 敏晴	神戸常盤大学教育イノベーション機構長 教授

【監事】 総数2名

役職	常・非常勤	氏名	現職
監事	非常勤	加山 秀剛	新日本有限責任監査法人 パートナー 公認会計士
		渡辺 政弥	ヤマハ発動機（株） 統合監査部長

参考 別紙（１） 平成２７・２８年度（第９・１０期）助成対象者

<第９期 スポーツチャレンジ研究助成 対象者> （平成２８年３月２日現在）

基本助成		
氏名(年齢)	チャレンジテーマ	所属
え ま りょういち 江間 諒一（２８）	二関節筋の肥大応答におけるトレーニング動作依存性の機序の解明：協働筋・拮抗筋という視点から	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科
おおいわ な お 大岩 奈青（３６）	生化学的指標を用いたコンディション評価の試み ～リオ五輪カヌースラローム競技でのメダル獲得を目指して～	国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部
おくつ みつはる 奥津 光晴（４０）	運動による肥大脂肪細胞排除の新たな分子メカニズムの解明	名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科
きたじま やすお 北嶋 康雄（３１）	骨格筋萎縮時における筋代謝特性の解明 – 骨格筋代謝物質の網羅解析による検証 –	東北大学 医工学研究科
なりた けんぞう 成田 健造（２６）	水泳中に泳者が発揮したパワーを評価する方法論の開発	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻
ふじばやし のぶあき 藤 林 献明（３０）	2020 東京五輪において男子三段跳でのメダル獲得に挑戦するトップアスリート支援型研究	立命館大学 共通教育推進機構
ほりうち た え 堀内 多恵（２８）	競技スポーツ現場と臨床心理学をつなぐ – 心理的危機場面对処するための心理教育の試み –	東京大学大学院 教育学研究科 臨床心理学コース
ほんじょう とよゆき 本 城 豊之（２９）	iSAAC を用いた筋ダイナミクスを反映させたスポーツ特異性トレーニングシステムの開発	立命館大学 グローバル・イノベーション研究機構
わしや ようすけ 鷲谷 洋輔（３２）	柔道道場にみる学習実践のフィルムエスノグラフィー	University of Toronto Exercise Sciences
わたなべ えい き 渡邊 瑛季（２５）	日本におけるスポーツツーリズムの空間的構造の解明	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 地球環境科学専攻
継続助成		
きたおか ゆう 北岡 祐（３１）	乳酸はトレーニング効果を増強するか？	東京大学大学院 総合文化研究科

<第9期 スポーツチャレンジ体験助成 対象者> (平成28年3月2日現在)

基本助成			
氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
あみもと まり 網本 麻里 (26)	車いすバスケットボール(障害者スポーツ) / 選手	世界へチャレンジ! 車いすバスケットボールプレイヤー	—
うえの こと 植野 琴 (20)	スノーボード・アルペン / 選手	スノーボード・アルペン 2018 平昌オリンピックメダル獲得に向けて	日本体育大学
おさき ひろかず 尾崎 弘和 (23)	オリエンテーリング / 選手	オリエンテーリング世界選手権アジア歴代最高位へのチャレンジ ~その先の世界選手権メダル獲得に向けて~	早稲田大学
きくち もえみ 菊池 萌水 (22)	スケート(ショートトラック) / 選手	ショートトラックで世界に挑戦するために	早稲田大学
すずき とおる 鈴木 徹 (34)	陸上・走高跳(障害者スポーツ) / 選手	リオデジャネイロパラリンピック大会での走り高跳びにおけるメダル獲得への挑戦	プーマジャパン
ほさか しもん 保坂 史門 (18)	スノーボードクロス / 選手	スノーボードクロス競技においてワールドカップ、オリンピック出場を目指して	金足農業高校
ますだ せいご 増田 成吾 (19)	スカッシュ / 選手	スカッシュの本場英国で世界レベルの大会優勝を目指す	エジンバラ大学
やぎ あいり 八木 愛莉 (27)	カヌースラローム(カナディアンシングル) / 選手	メダル獲得を目指し東京五輪より正式種目となるカヌースラローム女子カナディアンシングルに本場欧州で挑戦	早稲田大学
継続助成			
あしだ はじめ 芦田 創 (21)	陸上(障害者スポーツ) / 選手	陸上競技での2016リオデジャネイロパラリンピック出場、そして東京へ	早稲田大学
うちやま まさたか 内山 雅貴 (19)	自転車ロードレース / 選手	東京オリンピック自転車ロードレースでの代表選抜、メダル獲得に向けた欧州 UCI レースへの挑戦	サイクルレーシングチーム ボンシャンス
たけうち あいな 竹内 愛奈 (23)	アイスホッケー / 選手	アイスホッケー北米クラブチーム(CWHL)への挑戦 ~全ては平昌五輪のために~	Calgary Inferno
みうら ゆうき 三浦 優希 (18)	アイスホッケー / 選手	常にエキストラリーグで活躍する選手となり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪へ導く	日本放送協会学園高校
やなおか 柳岡 はるか (19)	フェンシング(フルレ) / 選手	2016・2020年のオリンピックでフェンシング日本人女子初の金メダル獲得	法政大学

<第9期 スポーツチャレンジ NEXT 対象者> (平成28年3月2日現在)

氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
うえがき ひかる 上垣 光 (15)	水泳(障害者スポーツ) / 選手	2020 東京パラリンピック競泳競技で金メダルをとるために、リオパラリンピック代表入りを目指す!	市川中学校
けんとう ブラウン 健人マシュー (14)	ラグビー / 選手	2019 ラグビーワールドカップ JAPAN 大会のために何が出来るか?!	練馬ラグビースクール
ふるはた かいき 古畑 海生 (15)	水泳 / 選手	大好きな水泳競技で進化を遂げて未来の扉を開き、本気の挑戦でオリンピック選手になる!	野々池中学校

<第10期 スポーツチャレンジ研究助成 対象者>（平成28年3月2日現在）

基本助成		
氏名（年齢）	チャレンジャーマ	所属
いけど あおい 池戸 葵（25）	女子アスリートの疲労骨折予防に向けたビタミンD補給法の検討	立命館大学 スポーツ健康科学研究科
おがわ てつや 小川 哲也（37）	異なる速度のランニング動作を司る中枢神経機構の解明	東京大学大学院 総合文化研究科
こばやし ゆうじ 小林 雄志（37）	瞬発的筋力発揮トレーニングとスロートレーニングを組み合わせた新規トレーニング手法の開発	熊本大学大学院 社会文化科学研究科
しんや まさひろ 進矢 正宏（33）	球のキレの正体 - 打者の予測誤差の観点から -	東京大学大学院 総合文化研究科
たかくら ひさし 高倉 久志（31）	持久的運動トレーニング効果を最大化する運動実施タイミングの検討	同志社大学 スポーツ健康科学部
ひらおか ひろあき 平岡 拓晃（30）	柔道選手の減量におけるコンディション評価方法の検討	筑波大学大学院 人間総合科学研究科
みうら あきと 三浦 哲都（32）	トップアスリートのリズム感（リズムカルな環境情報への位相差生成能力）の計測	早稲田大学 スポーツ科学学術院
みずの たかまさ 水野 貴正（33）	静的ストレッチングに電気刺激を組み合わせた筋力増強法の開発	名古屋大学 総合保健体育科学センター
はやし ようすけ 林 洋輔（33）	「エクササイズ」概念の再解明：西洋哲学における「エグゼルシスExercise」に着眼して	大阪教育大学 教育学部保健体育講座
まつだ たいき 松田 太希（27）	スポーツ集団の暴力性に関する社会哲学的研究	広島大学大学院
むこうやま まさとし 向山 昌利（40）	スポーツ・メガイメントが被災都市の復興戦略に及ぼす影響に関する研究：釜石市を事例として	びわこ学院大学 短期大学部ライフデザイン学科
継続助成①		
ふじい けいすけ 藤井 慶輔（29）	バスケットボールの実際のゲーム中における動きの激しさの評価	名古屋大学 総合保健体育科学センター
ふじばやし のぶあき 藤林 献明（31）	2020東京五輪において男子三段跳でのメダル獲得に挑戦するトップアスリート支援型研究	立命館大学 共通教育推進機構
わしや ようすけ 鷺谷 洋輔（33）	柔道道場にみる学習実践のフィルムエスノグラフィー	トロント大学大学院 エクササイズサイエンス研究科
継続助成②		
ふくたに あつき 福谷 充輝（33）	タイチンの受動張力を活用した、高速動作時であっても大きな筋力を発揮する方法の探索	立命館大学 総合科学技術研究機構

<第10期 スポーツチャレンジ体験助成 対象者>（平成28年3月2日現在）

基本助成			
氏名（年齢）	種目	チャレンジテーマ	所属
いけだ みきお 池田 樹生（19）	陸上（短距離）／障害者 スポーツ／選手	陸上短距離種目でのリオデジャネイロパラリンピック出場及び障害者スポーツの普及	中京大学
いしい しゅんべい 石井 駿平（18）	自転車（ロード/トラック） ／選手	2020年東京オリンピックへの挑戦～メジャー化に向け自転車競技で世界を相手に活躍できる選手になる！～	前橋工業高等学校
うめつ はるか 梅津 春香（17）	フェンシング（フルーレ）／ 選手	世界ジュニア選手権大会フルーレ種目で、日本人女子初の金メダル獲得への挑戦	帝京高等学校/JOCエリートアカデミー
きむら さえこ 木村 彩恵子（25）	スノーボード／選手・指導者	カナダにおける最高レベルのスノーボード指導資格「CASI4」取得に向けた挑戦	北海道スキー連盟
つじ さえ 辻 沙絵（21）	陸上（短距離）／障害者 スポーツ／選手	競技転向を経て、陸上競技短距離種目において2020年東京パラリンピックでメダル獲得を目指す試み	日本体育大学
てばかり たける 手計 岳隆（17）	スノーボード（クロス）／選 手	冬季オリンピックでスノーボードクロス日本代表になりメダルを獲得する為に	日体荏原高等学校
ふじわら ひろし 藤原 祐志（56）	馬術／競技役員	2020TOKYOに向け国際馬術連盟の総合馬術スチュワードレベル1の資格を取得し競技会運営に寄与する	アルパイン株式会社
ほそだ しょうたろう 細田 将太郎（24）	スキー（ジャンプ）／選手	スキージャンプ競技でワールドカップ出場、2018年のピョンチャンオリンピックでメダル獲得を目指して	北翔大学
継続助成①			
やぎ あいり 八木 愛莉（20）	カヌースラローム（カナディ アンシングル）／選手	東京五輪初オリンピック史上初のメダル獲得を目指して。カヌースラローム競技女子C-1本場欧州への挑戦。	早稲田大学
継続助成②			
うちやま まさたか 内山 雅貴（20）	自転車（ロード・トラック） ／選手	東京オリンピック自転車競技での代表選考・メダル獲得に向けた欧州UCIレースへの挑戦	サイクルレーシングチーム ボンシャンス
みうら ゆうき 三浦 優希（19）	アイスホッケー／選手	常にエキストラリーグで活躍する選手となり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪へ導く	日本放送協会学園高等 学校
柳岡 はるか（20）	フェンシング（フルーレ）／ 選手	2020年のオリンピックでフェンシング日本人女子初の金メダルを獲得	法政大学

<第10期生 スポーツチャレンジNEXT対象者>（平成28年3月2日現在）

チャレンジNEXT			
氏名（年齢）	種目	チャレンジテーマ	所属
かみはし けいしん 神箸 溪心（15）	スノーカー（ビリヤード）／ 選手	スノーカー世界チャンピオンへの道 ～海外で武者修行を行い、競技力向上、スノーカーの普及に貢献する～	名古屋市立守山中学校
わかつき あらた 若月 新（15）	スキー（アルペン）／選手	アルペンスキーで、南半球のニュージーランドで行われる国際スキー連盟主催のスキー大会に初挑戦したい	北照高等学校
チャレンジNEXT継続			
うえがき ひかる 上垣 光（16）	水泳／障害者スポーツ／選 手	2020年東京パラリンピック競泳競技で金メダルを取るために本気の挑戦を積み重ねる。	市川高等学校
ふるはた かいき 古畑 海生（16）	水泳／選手	大好きな水泳競技で進化を遂げて未来の扉を開き、本気の挑戦でオリンピック選手になる！	市川高等学校

参考 別紙（２） 平成２７・２８年度（第９・１０期）国際スポーツ奨学金対象者

<第９期 国際スポーツ奨学金 対象者> （平成２８年３月２日現在）

海外留学生奨学金			
氏名（年齢）	留学国	留学テーマ	所属
おおにし まりな 大西 茉莉奈（２６）	ドイツ	海外における、ジュニア世代のアスリート・指導者育成の現状の把握と、自身の指導力・語学力の向上	ライプツィヒ大学
せきぐち やすき 関口 泰樹（２４）	アメリカ	スポーツコンディショニングの勉強・研究を行うのと同時に、トレーナーとしての実際の経験を大学院で積む	University of Arkansas
むかい かおる 向井 薫（３０）	アメリカ	プロ球団やリーグ等のスポーツ組織における、継続的発展のためのマーケティング戦略に関する研究	New York University
平成 26 年度より継続			
さくた あすか 作田 飛鳥（２７）	イギリス	ソマティックのスポーツ生理学的アプローチを取り入れた舞踏訓練法の体系化と確立	University of Chichester
外国人留学生奨学金			
	国籍	留学テーマ	所属
フィンク ジュリウス（３３）	ドイツ	レジスタンストレーニング（RT）によって分泌されるホルモンとアンドロゲン受容体が筋肥大に与える影響	日本体育大学大学院 健康科学・スポーツ医科学
平成 26 年度より継続			
ソン ボギョン（２７）	韓国	水泳におけるパフォーマンス向上に有効な試合前のコンディショニングの自己調整法の開発	筑波大学大学院

<第１０期 国際スポーツ奨学金 対象者> （平成 28 年 3 月 2 日 現在）

海外留学生			
氏名（年齢）	国名	チャレンジテーマ	所属
なかだ たかひろ 中田 貴央（２６）	オランダ	オランダの医学的な視点から、男子サッカー日本代表のワールドカップ優勝に貢献するための土台を築く	FC Den Bosch
せきぐち やすき 関口 泰樹（２４）	アメリカ	スポーツコンディショニングの勉強・研究を行うのと同時に、トレーナーとしての実際の経験を大学院で積む	University of Arkansas

※関口泰樹さんは平成 27 年度採択の 2 年目

外国人留学生			
氏名（年齢）	国名	チャレンジテーマ	所属
キム ダユン 金 多允（２７）	韓国	下肢キネマティクスとランニング障害の発生の関連性	筑波大学大学院 人間総合科学研究科
フィンク ジュリウス（３３）	ドイツ	レジスタンストレーニング(RT)によって分泌されるホルモンとアンドロゲン受容体が筋肥大に与える影響	筑波大学大学院 人間総合科学研究科

※フィンク ジュリウスさんは平成 27 年度採択の 2 年目

参考 別紙（３） 第２７回 全国児童 水辺の風景画コンテスト 入賞者

■文部科学大臣賞

【受賞者】 三瀬 瑞稀（みせ みづき）さん 愛媛県 西予市立野村小学校 小６
 【作品名】 「シーカヤック」
 【表彰日・会場】 平成２７年１２月８日（火） 愛媛県 西予市立野村小学校 体育館
 【贈呈者】 西予市教育委員会 教育長 宇都宮 又重 様

■国土交通大臣賞

【受賞者】 尾形 鳳花（おがた ふうか）さん 長崎県 三浦保育園 年長
 【作品名】 「ふね しゅっこう」
 【表彰日・会場】 平成２７年１２月１１日（金）長崎県 三浦保育園 ゆうぎ室
 【贈呈者】 国土交通省 長崎港湾・空港整備事務所長 井村 洋三 様

■環境大臣賞

【受賞者】 赤坂 知紗（あかさか ちさ）さん 宮城県 美里町立ふどうどう幼稚園 年長
 【作品名】 「うみっておもしろい」
 【表彰日・会場】 平成２７年１２月９日（水）宮城県 美里町立ふどうどう幼稚園 ホール
 【贈呈者】 美里町教育委員会 教育長 佐々木 賢治 様

■農林水産大臣賞

【受賞者】 本間 暖大（ほんま はると）さん 静岡県 東伊豆町立稲取小学校 小６
 【作品名】 「伊豆稲取のエビ網漁」
 【表彰日・会場】 平成２７年１２月２日（水） 静岡県 東伊豆町立稲取小学校 校長室
 【贈呈者】 公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 事務局長 杉本 典彦

■特別賞（６点）

部門	氏名	学年	作品名	所属
審査員長賞	すぎた じんべい 杉田 仁平	６年	僕の理想の川	兵庫県 猪名川町立つつじが丘小学校
日本マリン事業協会会長賞	すずき かほ 鈴木 香帆	３年	おとうさんとさかなつりをしたよ	神奈川県 海老名市立上星小学校
日本ユネスコ協会連盟賞	なかむらここみ 中村 心海	１年	家族と行った江ノ島の海	神奈川県 海老名市立今泉小学校
日本マリーナ・ビーチ協会会長賞	もりした 森下 るりか	年長	海がだいすき！	兵庫県 学校法人杉村学園 熊内幼稚園
ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞	ささき はると 佐々木 悠人	３年	春野の漁港で魚釣り	高知県 高知大学教育学部附属小学校
ヤマハ発動機賞	しみず ゆいこ 清水 結子	４年	迫力満点！やなでの鮎つかみ	東京都 聖心女子学院初等科

■優秀賞（27点）

部門		氏名	学年	作品名	所属
金賞	幼児	うちの つばさ 内野 翠	年長	みずあそび	愛媛県 愛媛幼稚園
		とくなが こうめ 徳永 倅芽	年長	さかなつり	徳島県 吉野川市立牛島幼稚園
		たまがわ ゆうき 玉川 雄章	年中	ザリガニ	奈良県 近畿大学附属幼稚園
	小学校低学年	いとう はやと 伊藤 勇人	2年	じいちゃんの大好きサザエみつけた	広島県 三次市立十日市小学校
		くさか なな 日下 菜那	2年	みなとまつりの花火	徳島県 徳島市立加茂名南小学校
		はしもと りお 橋本 稜央	1年	大きな帆船	東京都 練馬区立光が岡春の風小学校
	小学校高学年	いとう ゆい 伊藤 柚衣	6年	喜んでいる子供たち	東京都 足立区立洲江小学校
		ほそかわ そら 細川 爽楽	6年	おれの夏休み	鹿児島県 屋久島町立神山小学校
		もりもと はるな 森本 晴菜	4年	浦戸の赤松漁港	高知県 高知市立秦小学校
銀賞	幼児	いとう ゆうと 伊藤 佑斗	年長	ぼくの海のおともだち	広島県 三次中央幼稚園
		おおくまりゆうたろう 大熊 琉太郎	年中	かめにのっておよぎたい	神奈川県 などでこ幼稚園
		みやざき ななみ 宮崎 菜々美	年長	おさかなとり	岡山県 鏡野町立富保育園
	小学校低学年	おおつかしょうた 大塚 祥太	2年	イルカとおよいだ	徳島県 徳島文理小学校
		おしぐりこみ 押栗 心美	3年	桂浜の一日	高知県 高知大学教育学部附属小学校
		まつもと みい 松本 実依	2年	たのしいすなあそび	神奈川県 海老名市立今泉小学校
	小学校高学年	さわだ たいが 澤田 大雅	4年	水族館で見た事	静岡県 浜松市立蒲小学校
		なかい けんしょう 中井 健翔	4年	漁業体験	奈良県 近畿大学附属小学校
		やまもと なおみち 山本 直導	5年	海の幸	高知県 高知市立第四小学校
銅賞	幼児	かわなべ みつき 川邊 美月	年中	カニをみつけたよ	熊本県 学校法人上村学園おおぞら幼稚園
		の だ り こ 埜田 理仔	年長	まんまるハリセンボン	愛知県 江南幼稚園
		もろはし いちか 諸橋 一花	年長	夏休み	神奈川県 大沢保育園
	小学校低学年	たきやま りおん 瀧山 凜音	2年	川あそび（鏡川）	高知県 高知市立秦小学校
		たけうちゆう 竹内 悠	1年	岩にかくれているカニとヤドカリ	神奈川県 平塚市立金目小学校
		みしま ひとみ 三島 一心	1年	夕日ヶ浦	京都府 京都女子大学附属小学校
	小学校高学年	きたい ゆりな 北居 由鈴名	6年	桜島を望むハイパードルフィン	兵庫県 百合学院小学校
		にいみ けんろう 新美 健太郎	5年	白川のせせらぎ	愛知県 長久手市立西小学校
		ばんどう ゆうき 坂東 悠希	4年	港にとまる一そうの船	鹿児島県 鹿児島市立八幡小学校

参考 別紙（４）平成 27 年度 スポーツ教材の提供先団体

■スポーツ教材提供先 120 団体

都道府県	団体	提供教材
北海道	学校法人北海道徳風学園 鶴野あおば幼稚園	サッカー 3 号球
北海道	学校法人吉井学園 花川北陽幼稚園	サッカー 3 号球
北海道	札幌市立新陽小学校	サッカー 4 号球
北海道	学校法人桔梗学園 ききょう幼稚園	サッカー 4 号球
北海道	むかわスポーツクラブ「むーブ」	サッカー 4 号球
北海道	札幌市立栄南小学校	タグラグビーセット (80cm)
北海道	札幌市立栄北小学校	タグラグビーセット (80cm)
北海道	新冠町教育委員会	タグラグビーセット (80cm)
北海道	アルペンスキー少年団 滝川レーシング	タグラグビーセット (80cm+105cm)
北海道	中標津町立俵橋小学校	タグラグビーセット (80cm)
青森県	社会福祉法人七戸福祉会 城南こども園	サッカー 3 号球
青森県	社会福祉法人陽明会 幼保連携型認定こども園 ちとせ幼保園	サッカー 4 号球
秋田県	秋田県立横手養護学校	サッカー 4 号球
岩手県	住田町立世田米中学校	サッカー 5 号球
岩手県	北上市立北上北中学校	タグラグビーセット (105cm)
福島県	学校法人あかい幼稚園	サッカー 3 号球
山形県	新庄あじさいラグビークラブ	タグラグビーセット (80cm+105cm)
茨城県	認定こども園 山本学園 総和第一幼稚園	サッカー 3 号球
栃木県	学校法人やまつつじ学園 上河内幼稚園	サッカー 3 号球
栃木県	大栗サッカークラブ	サッカー 4 号球
栃木県	社会福祉法人誠和会 やわらぎ児童館	タグラグビーセット (80cm+105cm)
栃木県	佐野市立出流原小学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
群馬県	学校法人光明学園 すみよし幼稚園	サッカー 4 号球
群馬県	情緒障害児短期治療施設 青い鳥ぐんま	サッカー 4 号球
群馬県	昭和村立東小学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
千葉県	市原市立五井小学校	タグラグビーセット (80cm)
千葉県	市原市立東海中学校	タグラグビーセット (105cm)
東京都	社会福祉法人扶助者聖母会 星美ホーム	サッカー 4 号球
東京都	社会福祉法人朝陽学園	サッカー 4 号球
東京都	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 双葉園	サッカー 5 号球
東京都	狛江市立狛江第六小学校	タグラグビーセット (80cm)
東京都	社会福祉法人クリスト・ロア会 聖ヨゼフホーム	タグラグビーセット (80cm+105cm)

都道府県	団体	提供教材
神奈川県	株式会社スポーツブラザホウトク 保育園大地	サッカー3号球
新潟県	妙高市立妙高高原北小学校	タグラグビーセット (80cm)
新潟県	阿賀野市立安野小学校	タグラグビーセット (80cm)
新潟県	阿賀野市立水原中学校	タグラグビーセット (105cm)
新潟県	村上市立金屋小学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
富山県	射水市立大島南部保育園	サッカー3号球
石川県	犬丸せんだんスポーツクラブ	サッカー4号球
石川県	能登町立柳田小学校	タグラグビーセット (80cm)
長野県	長野県飯山養護学校	サッカー5号球
長野県	長野県長野養護学校	タグラグビーセット (105cm)
長野県	長野県小諸養護学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
静岡県	学校法人井沢学園 富士リズム幼稚園	サッカー3号球
静岡県	袋井あそび保育園	サッカー3号球
静岡県	社会福祉法人大須賀苑 おおぶち保育園	サッカー3号球
愛知県	光城 11	サッカー4号球
愛知県	社会福祉法人愛燦会 児童養護施設 あいさんテラス	サッカー5号球
愛知県	半田市立亀崎小学校	タグラグビーセット (80cm)
三重県	桑名市立多度中学校	タグラグビーセット (105cm)
三重県	桑名市立多度中小学校	タグラグビーセット (80cm)
三重県	桑名市立多度東小学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
三重県	桑名市立大山田東小学校	タグラグビーセット (80cm)
三重県	津市立豊が丘小学校	タグラグビーセット (80cm)
三重県	熊野市立木本中学校 ラグビー部	タグラグビーセット (105cm)
三重県	亀山市立白川小学校	サッカー4号球
岐阜県	前宮保育所	サッカー3号球
岐阜県	美濃市立大矢田小学校	サッカー4号球
岐阜県	海津市立南濃中学校	サッカー5号球
岐阜県	NPO つけちスポーツクラブ中学サッカー	サッカー5号球
岐阜県	本巣市立真桑小学校	タグラグビーセット (80cm)
岐阜県	関市立瀬尻小学校	タグラグビーセット (80cm)
岐阜県	関市立安桜小学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
岐阜県	各務原市立川島小学校	タグラグビーセット (80cm)
岐阜県	高山市立城山保育園	タグラグビーセット (80cm)
滋賀県	栗東市立大宝西小学校	サッカー4号球
滋賀県	滋賀県立三雲養護学校	サッカー4号球
滋賀県	栗東市立大宝小学校	タグラグビーセット (80cm)

都道府県	団体	提供教材
滋賀県	東近江スポーツ少年団 楽苦備	タグラグビーセット (80cm+105cm)
京都府	社会福祉法人迦陵園	タグラグビーセット (80cm+105cm)
京都府	伊根町立伊根中学校	タグラグビーセット (105cm)
大阪府	社会福祉法人あけぼの事業福祉会 あけぼのドロップス	サッカー3号球
大阪府	石切山手幼稚園	サッカー3号球
大阪府	富田林市立高辺台小学校	サッカー4号球
大阪府	竹内ジュニアラグビークラブ	タグラグビーセット (80cm)
大阪府	枚方市立平野小学校	タグラグビーセット (80cm)
大阪府	清教学園中学校	タグラグビーセット (105cm)
兵庫県	神戸市立道場幼稚園	サッカー3号球
兵庫県	西脇市立比延小学校	タグラグビーセット (80cm)
兵庫県	朝来市立梁瀬小学校	サッカー4号球
兵庫県	兵庫県立上野ヶ原特別支援学校 サッカー部	サッカー5号球
奈良県	河合町立河合第二小学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
和歌山県	和歌山市立中之島小学校	タグラグビーセット (80cm+105cm)
和歌山県	和歌山市立和歌浦小学校	タグラグビーセット (80cm)
和歌山県	上富田アスレチッククラブ	タグラグビーセット (80cm+105cm)
香川県	高松市立木太北部小学校	サッカー4号球
愛媛県	東温市立南吉井保育所	サッカー3号球
愛媛県	育英第二幼稚園	サッカー3号球
愛媛県	学校法人ひまわり幼稚園	サッカー3号球
高知県	高知市立江陽小学校	タグラグビーセット (80cm)
鳥取県	鳥取市立湖山西小学校	サッカー3号球
鳥取県	学校法人かいけ幼稚園 かいけ心正こども園	タグラグビーセット (80cm)
島根県	浜田市立長浜小学校	タグラグビーセット (80cm)
山口県	学校法人日下学園 西門寺幼稚園	サッカー3号球
山口県	社会福祉法人下関大平学園	タグラグビーセット (80cm+105cm)
山口県	山口市立二島小学校	タグラグビーセット (80cm)
福岡県	認定こども園 空とぶくじら幼児園 志免本園	サッカー3号球
福岡県	社会福祉法人三川福祉会 竹の子保育園	サッカー3号球
福岡県	社会福祉法人井筒会 大原保育園	サッカー3号球
福岡県	糸島市立雷山小学校	サッカー4号球
福岡県	飯塚市立二瀬中学校サッカー部	サッカー5号球
福岡県	新宮保育園	タグラグビーセット (80cm)
福岡県	吉武地区スポーツ振興協議会	タグラグビーセット (80cm)

都道府県	団体	提供教材
福岡県	春日市立春日南小学校	タグラグビーセット (80cm)
福岡県	筑紫野市立阿志岐小学校	タグラグビーセット (80cm)
福岡県	飯塚市立額田小学校	タグラグビーセット (80cm)
福岡県	築上町立下城井小学校	タグラグビーセット (80cm)
大分県	社会福祉法人海辺福祉会 海辺保育園	サッカー3号球
大分県	社会福祉法人三州福祉会 さかえ保育園	サッカー3号球
大分県	高田ブルーホークスジュニア	タグラグビーセット (80cm)
長崎県	西海市立西海北小学校	サッカー4号球
長崎県	対馬市立仁田小学校	タグラグビーセット (80cm)
宮崎県	FC 北郷スポーツ少年団	サッカー4号球
鹿児島県	学校法人松明学園 みどり幼稚園	サッカー3号球
鹿児島県	伊仙町立へき地保育所	サッカー3号球
鹿児島県	学校法人石原学園 青山幼稚園	サッカー3号球
鹿児島県	社会福祉法人真和会 内山田保育園	サッカー3号球
鹿児島県	鹿児島市立名山小学校	サッカー4号球
鹿児島県	日置市立住吉小学校	タグラグビーセット (80cm)

※教材提供後、1団体辞退

■東日本大震災被災地支援 65団体

都道府県	団体	提供教材
岩手県	認定こども園 宮古泉幼稚園	サッカー3号球
岩手県	岩手県立釜石祥雲支援学校	サッカー4号球
岩手県	岩手県立前沢明峰支援学校	サッカー4号球
岩手県	久慈フーバスポーツクラブ	サッカー5号球
岩手県	宮古市立田老第一中学校	サッカー5号球
岩手県	大槌町教育委員会 事務局学務課	ラグビーセット (80cm)
岩手県	盛岡市立好摩幼稚園	ラグビーセット (80cm)
岩手県	宮古市立千徳小学校	ラグビーセット (80cm)
岩手県	宮古市立宮古小学校	ラグビーセット (80cm+105cm)
宮城県	多賀城市立多賀城八幡小学校	サッカー5号球
宮城県	総合型地域 Enable スポーツクラブ	サッカー5号球
宮城県	塩竈市立第二中学校	サッカー5号球
宮城県	大河原町立大河原南小学校	ラグビーセット (80cm)
宮城県	気仙沼市立津谷小学校	ラグビーセット (80cm)
宮城県	児童養護施設 旭が丘学園	ラグビーセット (80cm+105cm)
福島県	猪苗代町立翁島小学校	サッカー3号球
福島県	社会福祉法人敬和会 金山保育園	サッカー3号球
福島県	学校法人白梅 認定こども園榎の木 ひがしぎょうにん 幼稚園・アリスルーム	サッカー3号球
福島県	福島県立あぶくま養護学校	サッカー3号球
福島県	学校法人勿来中野学園 なこそ幼稚園	サッカー3号球
福島県	いわき短期大学附属幼稚園	サッカー3号球
福島県	学校法人堀内学園 富岡幼稚園	サッカー3号球
福島県	学校法人ありす幼稚園	サッカー3号球
福島県	学校法人白ばら幼稚園	サッカー3号球
福島県	白河市立ひがし幼稚園	サッカー3号球
福島県	白河市立五箇幼稚園	サッカー3号球
福島県	学校法人恵泉学園 飯坂恵泉幼稚園	サッカー3号球
福島県	相馬市立中村第二小学校	サッカー3号球
福島県	郡山市立守山小学校	サッカー4号球
福島県	社会福祉法人慈育会 愛宕保育園	サッカー4号球
福島県	いわき市立小名浜西小学校	サッカー4号球
福島県	大玉 FC スポーツ少年団	サッカー4号球
福島県	日新こどもクラブ	サッカー4号球
福島県	伊達市立大石小学校	サッカー4号球

都道府 県	団体	提供教材
福島県	田村市立都路中学校	サッカー4号球
福島県	猪苗代町立千里小学校	サッカー4号球
福島県	会津若松市立城北小学校	サッカー4号球
福島県	南相馬市立原町第一中学校	サッカー5号球
福島県	富岡町立富岡第二中学校	サッカー5号球
福島県	二本松市立二本松第三中学校	サッカー5号球
福島県	川俣町立山木屋中学校	サッカー5号球
福島県	福島県立須賀川養護学校	サッカー5号球
福島県	認定こども園 かわうち保育園	ラグビーセット (80cm)
福島県	郡山市立柴宮小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	須賀川市立柏城小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	郡山市立高野小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	喜多方市立塩川小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	相馬市立八幡小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	福島市立清明小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	いわき市立泉小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	会津若松市立日新小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	下郷町立江川小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	会津若松市立河東学園小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	小川幼稚園	ラグビーセット (80cm)
福島県	南会津町立荒海小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	IWAKI ユニバース	ラグビーセット (80cm)
福島県	郡山市立安積第三小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	学校法人星学園 泉幼稚園	ラグビーセット (80cm)
福島県	須賀川市立第二小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	須賀川市立第一小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	二本松市立石井小学校	ラグビーセット (80cm)
福島県	いわき市立川部中学校	ラグビーセット (105cm)
福島県	双葉町立双葉北小学校	ラグビーセット (80cm+105cm)
福島県	三島町立三島小学校	ラグビーセット (80cm+105cm)
福島県	郡山市立日和田小学校	ラグビーセット (80cm+105cm)

参考 別紙（５） 第２４回 セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖 参加団体と上位入賞者

・参加クラブ：３４団体 参加隻数：１０９隻 参加人数：１１９名

都道府県	クラブ名	隻数	人数
山形県	山形県立加茂水産高等学校	1	1
福島県	いわき海星高等学校ヨット部	2	2
千葉県	千葉市立磯辺中学校ヨット部	7	7
千葉県	千葉市立稲毛高等学校附属中学校	10	10
千葉県	千葉ビルダーズヨットクラブ ジュニア	1	1
東京都	江東区立小中学校セーリング部	2	2
東京都	東京ジュニアユース	1	1
東京都	夢の島ヨットクラブ	1	1
神奈川県	江の島ヨットクラブジュニア	3	3
神奈川県	EYCユース	1	1
神奈川県	湘南ジュニアヨットクラブ	1	1
神奈川県	KMC横浜ジュニアヨットクラブ	3	3
神奈川県	横浜ジュニアヨットクラブ	3	3
神奈川県	神奈川県ユースヨットクラブ	3	3
神奈川県	YMFSジュニアヨットスクール葉山	7	7
山梨県	山中湖中学校ヨット部	7	7
静岡県	静岡県立相良高等学校	2	4
静岡県	静岡県立熱海高等学校	3	6
静岡県	清水ヨット・スポーツ少年団	5	5
静岡県	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	6	6
愛知県	海陽海洋クラブ	11	11
愛知県	なごやジュニアヨットクラブ	1	1
愛知県	碧南セーリングクラブ	2	4
三重県	三重県立津工業高等学校ヨット部	4	7
三重県	三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ	3	3
滋賀県	真野浜セーリングクラブ	4	4
京都府	宮津ジュニアヨットクラブ	1	1
兵庫県	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3	3
兵庫県	レーザー 芦屋フリート	1	1
香川県	B&G高松海洋クラブ	5	5
愛媛県	愛媛県セーリング連盟	1	1
広島県	広島県セーリング連盟	1	1
福岡県	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2	2
佐賀県	玄海セーリングJr.クラブ	1	1

109隻 119人

・上位入賞者（開催各クラス）

OP初級（参加21艇）		
	氏名	所属
総合1位	遠藤貫太郎	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ
総合2位	富永遼希	海陽海洋クラブ
総合3位	嶋倉侑司	真野浜セーリングクラブ
女子1位	織田真帆	千葉市立磯辺中学校ヨット部

OP上級（参加36艇）		
	氏名	所属
総合1位	服部陸太	江の島ヨットクラブジュニア
総合2位	佐々木マールトン星和	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ
総合3位	前田海陽	広島県セーリング連盟
総合4位	安永昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ
総合5位	嶋倉照晃	真野浜セーリングクラブ
総合6位	鈴木亮太郎	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ
女子1位	小林奏	宮津ジュニアヨットクラブ

ミニホッパー級（参加11艇）		
	氏名	所属
総合1位	高村彪太郎	山中湖中学校ヨット部

レーザージャニアル級（参加6艇）		
	氏名	所属
総合1位	上山竜誠	三重県立津工業高等学校

レーザ-4.7級（参加25艇）		
	氏名	所属
総合1位	三浦凪砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ
総合2位	桐井航汰	江の島ヨットクラブジュニア
総合3位	廣瀬翔大	YMFSジュニアヨットスクール葉山
女子1位	三浦凪砂	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ

FJ級（参加5艇）		
	氏名	所属
総合1位	加藤文哉／伊井健太郎	静岡県立熱海高等学校

F420級（参加5艇）		
	氏名	所属
総合1位	谷口龍帆／山本虎太郎	三重県立津工業高等学校